



## 2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年2月12日

上場会社名 株式会社ピー・ビーシステムズ 上場取引所 福  
 コード番号 4447 URL http://www.pbsystems.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 富田 和久  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 彌永 玲子 TEL 092-481-5669 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第1四半期の業績 (2019年10月1日～2019年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	510	—	55	—	55	—	46	—
2019年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	17.43	14.99
2019年9月期第1四半期	—	—

(注) 1. 当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 当社は、第1四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、2019年9月期第1四半期の数値及び2020年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	973	458	47.1
2019年9月期	1,023	362	35.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 458百万円 2019年9月期 362百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年9月期の業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,150	20.9	175	13.5	170	33.9	137	1.8	51.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2020年9月期の業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2020年9月期の1株当たり当期純利益は102円68銭となります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	2,726,000株	2019年9月期	2,618,400株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	－株	2019年9月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	2,674,826株	2019年9月期1Q	2,318,400株

当社は、2020年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。株式数は、2019年9月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における国内経済は、海外情勢の不安定さにより製造業を中心に慎重さが増しているものの、全体としての企業収益は高い水準で推移しました。

当社の属する情報通信業界は、国内企業が事業構造の変革や競争力の強化を目的として積極的に設備投資を進める局面が続いています。この良好な環境がセキュアクラウド事業において「基幹システムのクラウド化」、「2025年の崖からのDX」に対する旺盛な需要につながり、当第1四半期累計期間はセキュアクラウドシステム事業を中心に順調な推移を見せました。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は510,400千円、営業利益は55,183千円、経常利益は55,217千円、四半期純利益は46,616千円となりました。

なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりませんが、前第1四半期累計期間における経営成績等につきましては、参考値として記載しております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### (セキュアクラウドシステム事業)

大口パートナー及び優良企業顧客からの受注が順調に進捗した結果、セキュアクラウドシステム事業の売上高は、484,926千円、セグメント利益は113,637千円となりました。

#### (エモーショナルシステム事業)

中心戦略製品である4D王の販売が計画通り進捗した結果、エモーショナルシステム事業の売上高は、25,473千円、セグメント損失は991千円となりました。

なお、全社営業利益は、各セグメントの営業損益の合計から、報告セグメントに分配していない全社費用57,462千円を差し引いた数値となっています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### 全社経営成績前年同期比

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	前年同期比 (%)
売上高	376,259	510,400	135.7
営業利益	18,175	55,183	303.6
経常利益	16,443	55,217	335.8
四半期純利益	14,891	46,616	313.0

### セグメント別前年同期比

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	前年同期比 (%)
セキュアクラウドシステム事業			
売上高	345,116	484,926	140.5
セグメント損益	71,742	113,637	158.4
エモーショナルシステム事業			
売上高	31,143	25,473	81.8
セグメント損益	△3,691	△991	—

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産の部は、前事業年度末に比べて50,518千円減少し、973,179千円となりました。これは主に、現金及び預金の減少(前事業年度末に比べて143,759千円の減少)、商品及び製品の増加(前事業年度末に比べて90,659千円の増加)、電子記録債権の増加(前事業年度末に比べて12,942千円の増加)等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債の部は、前事業年度末に比べて147,218千円減少し、514,438千円となりました。これは主に、買掛金の減少(前事業年度末に比べて121,991千円の減少)、前受金の増加(前事業年度末に比べて28,006千円の増加)、未払費用の減少(前事業年度末に比べて22,656千円の減少)、未払金の減少(前事業年度末に比べて18,920千円の減少)によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産の部は、前事業年度末に比べて96,700千円増加し、458,740千円となりました。これは、新株発行による資本金、資本準備金の増加(前事業年度末に比べてそれぞれ25,041千円の増加)、四半期純利益46,616千円を計上したことによる利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	497,350	353,590
受取手形	1,933	3,796
電子記録債権	6,674	19,617
売掛金	318,614	315,690
商品及び製品	59,151	149,811
仕掛品	31,310	25,471
原材料及び貯蔵品	235	235
前渡金	177	6,720
未収入金	1,081	966
前払費用	4,280	3,752
その他	2	1
流動資産合計	920,812	879,653
固定資産		
有形固定資産		
建物	733	733
減価償却累計額	△24	△36
建物(純額)	708	696
構築物	2,195	2,195
減価償却累計額	△1,696	△1,712
構築物(純額)	498	483
工具、器具及び備品	38,350	38,350
減価償却累計額	△26,042	△27,259
工具、器具及び備品(純額)	12,307	11,090
有形固定資産合計	13,514	12,269
無形固定資産		
特許権仮勘定	1,176	1,176
ソフトウェア	31,831	29,002
電話加入権	164	164
無形固定資産合計	33,173	30,344
投資その他の資産		
出資金	30	30
敷金	10,065	9,944
差入保証金	1,019	1,019
長期前払費用	39	20
繰延税金資産	45,043	39,898
投資その他の資産合計	56,197	50,912
固定資産合計	102,885	93,525
資産合計	1,023,698	973,179

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	226,196	104,204
1年内返済予定の長期借入金	75,192	74,854
未払金	53,516	34,595
未払費用	41,878	19,221
未払法人税等	20,279	5,298
未払消費税等	10,702	8,154
前受金	51,197	79,203
預り金	6,058	15,788
賞与引当金	—	14,805
流動負債合計	485,020	356,128
固定負債		
長期借入金	175,872	157,412
長期前受金	764	898
固定負債合計	176,636	158,310
負債合計	661,657	514,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	194,220	219,261
資本剰余金		
資本準備金	194,220	219,261
資本剰余金合計	194,220	219,261
利益剰余金		
利益準備金	165	165
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△26,564	20,052
利益剰余金合計	△26,399	20,217
株主資本合計	362,040	458,740
純資産合計	362,040	458,740
負債純資産合計	1,023,698	973,179

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
売上高	510,400
売上原価	353,190
売上総利益	157,210
販売費及び一般管理費	102,026
営業利益	55,183
営業外収益	
為替差益	213
雑収入	632
営業外収益合計	845
営業外費用	
支払利息	791
保証料	20
営業外費用合計	811
経常利益	55,217
税引前四半期純利益	55,217
法人税、住民税及び事業税	3,455
法人税等調整額	5,145
法人税等合計	8,600
四半期純利益	46,616



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第1四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)	
減価償却費	4,578千円

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

当社は、2019年10月16日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売り出しに関連した第三者割当増資による新株式30,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ19,044千円増加しております。また、2019年12月20日付で実施された新株予約権の行使による新株式23,800株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ5,997千円増加しております。

これらの結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が219,261千円、資本剰余金が219,261千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額
	セキュアクラウド システム事業	エモーショナル システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上 高	484,926	25,473	510,400	—	510,400
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—
計	484,926	25,473	510,400	—	510,400
セグメント利益又は 損失(△)	113,637	△991	112,646	△57,462	55,183

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△57,462千円は、報告セグメントに分配していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は、2019年11月29日開催の取締役会の決議に基づき、2020年1月1日付で、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を実施いたしました。

(1) 株式分割の目的

株式分割により、当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げること、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、流動性の向上及び投資家層の拡大を図ることを目的としております。

(2) 株式分割の概要

①分割の方法

2019年12月31日(火)を基準日(同日は株主名簿管理人の休業日のため、実質的な基準日は、2019年12月30日(月)となります)として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

②分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	1,363,000株
今回の分割により増加する株式数	1,363,000株
株式分割後の発行済株式総数	2,726,000株
株式分割後の発行可能株式総数	9,273,600株

③分割の日程

基準日公告日	2019年12月13日(金)
基準日	2019年12月31日(火) (注)
効力発生日	2020年1月1日(水)

(注) 同日は株主名簿管理人の休業日のため、実質的な基準日は、2019年12月30日(月)となります。

④1株当たり情報に及ぼす影響

「1株当たり情報」は、当該株式分割が当事業年度の期首に行われたと仮定して算出しており、これによる影響については、当該箇所に記載しております。

(3) 株式分割に伴う定款の一部変更

①定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2020年1月1日(水)をもって、当社定款第5条に定める発行可能株式総数を分割比率に合わせて変更いたしました。

②定款変更の内容

変更の内容は以下のとおりであります。

(下線は変更部分を示しております。)

現 行 定 款	変 更 後 定 款
(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 <u>4,636,800</u> 株とする。	(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 <u>9,273,600</u> 株とする。

③定款変更の日程

効力発生日	2020年1月1日(水)
-------	--------------

(4) その他

①資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

②新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、2020年1月1日(水)の効力発生日以降、新株予約権の目的となる1株当たりの行使価額を以下のとおり調整いたしました。

新株予約権の名称	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回新株予約権	150円	75円
第4回新株予約権	504円	252円